

算数・数学クリニック

「算数・数学クリニック」では本学周辺地域で算数・数学の学習につまずいている子どもたちへ学習支援を行っています。学校では取り残されてしまうこともあるそのような子どもたちに学校での学習とは別に丁寧に指導を受けられる環境があれば、自分に合ったペースでゆっくりと学習できると考え、寺子屋のように個別に指導を行っています。来訪する子どもたちを指導するスタッフは、穴田准教授とゼミの学生たちです。開設以来、参加した子どもたちの延べ人数は2,400名に届きます。今年度の活動シーンを2つ紹介します。

よく知られているように円の面積は、(半径)×(半径)×3.14で求めることができます。また、円は小さな扇形に等分割すると長方形に近い形に並べかえることができます。長方形の面積は、(たて)×(よこ)で求められることもよく知っているので、円の等分割と並べかえでできたこの長方形の(たて)×(よこ)から、円の面積の式を導きました。6年生の児童は、円をハサミで切り貼りして、長方形に変形するという工作をしながら、長方形の「たて、よこ」と円の「半径、円周」との関係を確認することができました。

もうひとつは、角の大きさとは何か、それを測るための分度器の使い方を修得するために、Scratchプログラミングとそのスプライトになる体験をしました。スプライトになった4年生の児童は、回転する角の大きさを分度器で測って、方向を決めて進みます。決めた方向に紙テープを貼って協力してくれるのは上級生の児童です。学年を超えて協働で分度器の使い方をしっかりと学びました。

参加した子どもたちにとって「算数・数学クリニック」は、時間がかかっても自分なりの理解をして自分のものにしていく場となっています。2022年度は計19回、毎週水曜日の16:00~18:00に開催し、参加した子どもたちの延べ人数は28名で、参加した学生の延べ人数も28名でした。

担当者 教育学科 穴田恭輔 准教授 **対象** 大学周辺地域の児童 **主催等** 神戸女子大学 文学部 教育学科 穴田研究室

実施日 2022年5月25日(水)~2022年12月21日(水) 全19回 **場所** 神戸女子大学 須磨キャンパスM館 M315教室

参加学生数 延べ28名



並べかえて長方形にする



回転する角の大きさをきめる